

2008(平成20)年7月1日 第25号

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行：(福)十字の園本部事務局
理事長 平井 章

住所：〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川7220-11
tel 053-436-9535
fax 053-437-1352



「わたしを強めてくださる方のお陰でわたしにはすべてが"可能です。」

フィリピの信徒への手紙 4章13節

松崎十字の園 施設長 三條洋二

この言葉は、伊豆高原十字の園を引っ越された職員が置いて行かれた荷物の中にあった本『N.V.ピール著、積極的考え方の力』に書かれていた聖句です。その時はあまり気に留めずにいましたが6年前松崎十字の園を立ち上げる際、そこで働く職員も大変な思いをしていたのですが、私自身も何から手をつければいいのかわからず自信を無くしていた時、持ってきた荷物の中に先の本があり、その聖句と再び出会いました。聖句から力を得ようと毎朝、鏡を見る時に目に入るよう洗面台の横にこの言葉を張り出し、自分に自信を付ける様に声に出していました。神様の恵みは、私自身に強いリーダーシップを執るという形では現れませんが結果的には、思いの通りになったと言う事でしょう。施設は、さまざまな問題を持ちながらも、職員一人ひとりが利用者の事を考えて行動してくれている事や、利用者・地域の人たちの理解により7年目の歩みを続ける事が出来ています。全てに感謝です。



次の世代への残したい創立の心・ハニ姉妹の思い 『伝道とディアコニー（奉仕）の団体・十字の園』

理事長 平井 章

1. 神の命令と十字の園の使命

十字の園献堂式の日（1960年12月5日）にハニ・ウォルフ姉妹は「神さまが約束してくださいました天国へ入りたいけれども、私たちには罪が多いので入れてもらえない。主イエスがご自身の十字架によって、神の国へ入る道を開いてくださいましたから、私たちが入ることのできる国は十字架の下だけです。そこには救いの希望があります。私たちの心は感謝と歓びに溢れています。“み言葉を宣べ伝えなさい、時が良くて悪くても”という今日のみ言葉の命令です。神さまの証人として伝道しましょう。伝道とディアコニー（奉仕）の団体、十字の園。ハニ・ウォル夫」と記しています。神に託された十字の園の使命に「伝道」が加わっています。

2. 伝道・奉仕・業

ハニ姉妹は伝道、奉仕、業をつきのように説明しています。

①伝道：主イエスの十字架の死によって私たちの罪が赦されることと、主イエスの復活を信じますから、それが私たちの永遠の希望になります。また私たちは、この「十字の園」の団体によって結びついている私たちは、この大喜びの福音を感謝するために、主イエスに召されたその愛の業をとおして、世界の困難の中にある人々に福音を伝えたい。

②ディアコニー（奉仕）：私たちは、主イエスの愛と憐れみによって、主イエスご自身の仕事をことをいただき、たいへん感謝です。私たちもこの愛と憐れみを困難の中にある人に与えたい。

③業：「貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいる」（マタイ福音書）と主イエスは言われましたから、いつの世までも、私たちの目の前に困難な人々はなくならないと思います。どんな時代でも、どこにでも、苦しみがあります。しかし時によって困難の形がよく変わります。

3. 在園者のうち40%が受洗

老人ホームの始まった年のクリスマスに、在園者30人のうち12人（40%）が受洗する、という大奇蹟がおこって、どぎもを抜かれた。わ

が十字の園の歴史のなかでこの記録は破られていない。この偉大な神さまにみ業を称え、

記念としてながく記したい。

4. 創立の時代から今の時代

最初の老人ホームは、日本で最初の特別養護老人ホームと言われていますが、法律や制度のない時代に、生活保護法の養老施設（定員30名・職員7名）として始まりました。その時からもうすぐ50年になります。十字の園は、特別養護老人ホーム4施設（定員335名）、軽費老人ホーム2施設（定員80名）、養護老人ホーム（定員50名）、障害者支援施設（定員20名）とそれぞれの施設に付帯する在宅福祉事業を運営するようになりました。今年4月の職員数は、常勤318名、非常勤198名、計516名となっています。

ハニ姉妹は「老人ホームは聖隸の法人でなく、別の法人を作つてやりたいと思います。何時までも老人ホームは神さまの力の大きさでやりたい、わたしたち働く人、みんなキリストの十字架の下でだけ一つになって働く団体にしたい。」と言って、新しい「十字の園」の法人が作られました。

5. 残したい創立の心・ハニ姉妹の思い

法人として大きくなりましたが、創立の精神はこれからも継承していかなければなりません。ハニ姉妹と一緒に働いた職員はもういません。創立時の職員の鈴木生二氏や綿鍋義典氏たちと一緒に働いた職員も少なくなりました。日々の働いている「伝道・ディアコニー（奉仕）・業」の姿を見て育てられることは適いませんが、文書として、記録として次の世代に残していくたいと思います。創立50周年に向けて、記念誌作成の準備が始まります。歴史に残したい資料、記録、物、想い出話がありましたら法人事務局までお寄せください。



ハニ姉妹と長谷川保

就任のあいさつ

新評議員 田島 誠一



このたび評議員に就任いたしました田島でございます。日本老人福祉財団（ゆうゆうの里）理事長を務めながら、日本社会事業大学専門職大学院で福祉経営を教えています。どうぞよろしくお願ひいたします。日本老人福祉財団に移るまで聖隸福祉事業団に33年間勤務していました。20代のころ「わかば保育園」に勤務していた際には、「男の保母さん？」と怪訝に思われながらも、綿鍋園長夫妻を始め周囲の皆さんに「聖隸には昔『男護婦』がいたから」と笑顔で迎えられたことを思い出します。

ところで、高齢者福祉サービスの現場にとって今後ますます重要になってくる課題は、ターミナルケアへの対応と、認知症への対応だと考えています。十字の園は開設当初から医療対応に重点を置いてこられました。とりわけ、御殿場十字の園での林先生を先頭にした重介護者への看取りの実践は素晴らしいものであったと思います。残念ながら当時の行政や「業界」は「御殿場十字の園は死亡者が多い」などと言う受け止めしか出来ませんでした。わが国の特別養護老人ホームが、十字の園の働きに十分学ぶことなく、医療と福祉を切り離したかたちで発展してきたことは、残念でなりません。

聖隸80年の歴史のうち前半は、医療専門職の少ない中でターミナルの結核患者さんたちに全人的に向かい合って共に生きる日々であったと思います。今日の私たちは、貧しかったけれども高い「志」を持って、病む人や苦しむ人々に尽くした諸先輩の働きに支えられていることを思います。懐かしい木造の建物は無くなり周囲の景色もずいぶんと変わりましたが、「志」に支えられ豊かな福祉サービスを提供する働きは変わることはありません。30余年前、新米保育士の私を暖かく見守ってくれた皆様の笑顔を思い、微力ではありますが評議員としての勤めを果たしていきたいと思います。

「ここは天の門だ」

遠州栄光教会牧師 森田 恭一郎



今から25年前、浜松十字の園の旧礼拝堂に一度だけお訪ねする機会がありました。思わず天井を見上げた程に広々とした高い空間のある礼拝堂であったと覚えています。この度遠州栄光教会は、おかげさまで三方原会堂を新しく献堂しました。十字の園の皆様から祈りと献金を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。新しい会堂はこの十字の園の礼拝堂にどこか似ているとふと感じます。両方とも木造で、礼拝堂の室内の形が真四角でなく丸みがあり、天井も高い。新会堂も中に入ると思わず上を見上げます。天井を見上げているようですが、それを通して天上の世界を仰ぎます。それはきっと十字の園の礼拝堂でも同じだったのではと想像します。

「ここは天の門だ」（創世記第28章17節）定礎板に記した聖句です。会堂の塔の下の通りから見える所に据えました。時に私たちはうつむき加減で歩んでしまいますが、定礎板の前を通る時には、そこから天を仰いで欲しいと願ってのことです。塔の上の十字架を仰ぎつつ、キリストの十字架の贖い（あがない）の故に、天上の世界が地上の世界と繋がっている、私たちは天に希望を繋いで生きることが出来る、と皆さんが天に思いを馳せ、安らぎと勇気を得て戴ければ幸いです。教会は、十字の園の利用者の皆さんにも職員の皆さんにもこの祝福をお伝えしていく仕方で、十字の園での神様の御業にお仕えしていきます。



2007(平成19)年度事業並びに決算報告

2007年度は、障害者自立支援法への改正が4月に実施され、当法人でも関わる施設に影響がありました。これに対処するために各施設が連携し法人全体としての取り組みを行いました。社会福祉を取巻く情勢の変化を受け、経営面では法人の各事業決算に影響が出ていますが、法人全体としては、運営の効率化、在宅事業の拡大などの努力により減益の幅を縮小する事ができました。

1. 役員会 理事会4回・評議員会 4回
2. 監事監査 決算監査及び業務監査 2回
3. 運営会議 法人運営会議 5回
4. 常務理事会 常務理事会議 5回
4. 法人研修 法人大会及び職種毎に 9回

5. 施設運営 浜松十字の園、御殿場十字の園、伊豆高原十字の園、松崎十字の園の指定介護老人福祉施設及びアドナイ館、御殿場アドナイ館のケアハウス事業並びに障害者支援施設オリブ、伊東市立養護老人ホームが順調に実施されました。

◆◇ 社会福祉法人会計 貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流动資産	868,573	流动負債	105,793
現金預金	478,520	未払金	99,045
未収金	389,696	預り金	6,748
立替金	357	前受金	0
固定資産	3,716,793	固定負債	880,799
基本財産	3,250,689	設備資金借入金	736,042
土地	486,300	長期運営資金借入金	0
建物	2,764,389	長期預り金	114,126
その他の固定資産	466,104	退職給与引当金	30,631
土地	161,267	負債の部合計	986,592
建物	22,918	純資産の部	
構築物	1,428	基本財産	870,123
車輌運搬具	14,598	国庫補助金等特別積立金	1,840,139
器具及び備品	31,565	施設整備等積立金	78,000
権利	2,250	次期繰越活動差額	810,512
施設設備等積立預金	78,000	(うち当期活動収支差額)	30,971
管理費積立預金	114,126	純財産の部合計	3,598,774
退職共済預け金	30,631		
長期預け金	221		
福利厚生資金預け金	9,100		
資産の部合計	4,585,366	負債・純財産の部合計	4,585,366

事業活動収支差額

(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動収支の部	
介護保険収入	2,409,958
国庫補助金等特別積立金取崩額	134,363
事業活動収入計	2,544,321
人件費	1,746,974
経費	593,901
(直接介護費)	368,981
(一般管理費)	224,920
利用者負担軽減額	5,338
減価償却費	203,851
引当金繰入	5,782
事業活動支出計	2,555,846
事業活動外収支の部	
借入金利息補助金収入	5,279
受取利息配当金収入	1,216
寄附金収入	15,838
その他の事業活動外収入	13,722
雑収入	17,023
事業活動外収入計	53,078
借入金利息	12,270
その他の事業活動外支出	11,163
雑損出	5,960
事業活動外支出計	29,393
経常収支差額	12,160
特別取支の部	
施設整備等補助金収入	28,120
施設整備等寄付金収入	0
固定資産受贈額	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0
他会計区分繰入金収入	49,480
会計区分外繰入金収入	18,810
特別収入計	96,410
基本金組入額	0
国庫補助金等特別積立金繰入額	28,120
固定資産除売却損	0
他会計区分繰入金支出	49,480
会計区分外繰入金支出	0
特別支出計	77,600
特別収支差額	18,810
当期活動収支差額	30,970
前期繰越活動収支差額	759,542
積立金取崩額・積立額	△ 20,000
次期繰越活動収支差額	810,512

◆◇ 公益事業会計 貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流动資産	22,452	流动負債	1,358
現金預金	16,731	未収金	1,358
未収金	5,150	固定負債	0
薬品	571	引当金	0
		負債の部合計	1,358
固定資産	943	純資産の部	
器具及び備品	943	基本財産	0
その他の固定資産	0	次期繰越活動収支差額	22,037
計	23,395	(うち当期活動収支差額)	1,568
		純財産合計	22,037
		計	23,395

財産目録

I 資産の部		合計	資産の部 合計
1. 流動資産			
普通預金	静岡銀行他	891,025,416円	891,025,416円
定期預金	静岡銀行	366,887,381円	366,887,381円
未収金	(介護報酬他)	128,363,590円	128,363,590円
立替金	(棚卸残高)	394,846,351円	394,846,351円
貯蔵品		356,820円	356,820円
		571,274円	571,274円
2. 固定資産		3,722,736,643円	3,722,736,643円
(1)基本財産	建物 (8棟 21,753.55m ²)	3,250,689,842円	3,250,689,842円
	土地 (20筆 25,182.77m ²)	2,764,389,416円	2,764,389,416円
(2)その他の固定資産	建物 (倉庫・物置)	486,300,426円	486,300,426円
	土地	472,046,801円	472,046,801円
	構築物 (門扉・陸橋等)	22,918,443円	22,918,443円
		161,267,050円	161,267,050円
		1,427,521円	1,427,521円
		14,598,386円	14,598,386円
		32,508,346円	32,508,346円
		2,250,000円	2,250,000円
		78,000,000円	78,000,000円
		5,000,000円	5,000,000円
		114,126,000円	114,126,000円
		30,630,555円	30,630,555円
		220,500円	220,500円
		9,100,000円	9,100,000円
		4,613,762,059円	4,613,762,059円
II 負債の部		合計	負債の部 合計
1. 流動負債			
未払金	(業者支払い他)	107,151,321円	107,151,321円
預り金	(所得税他)	100,403,027円	100,403,027円
前受金		6,748,294円	6,748,294円
		0円	0円
2. 固定負債		880,799,028円	880,799,028円
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	724,975,000円	724,975,000円
設備資金借入金	静岡県社会福祉協議会	11,067,473円	11,067,473円
退職給与引当金	静岡県退職共済	30,630,555円	30,630,555円
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金	114,126,000円	114,126,000円
		987,950,349円	987,950,349円
差引純資産		3,625,811,710円	3,625,811,710円

公益事業活動収支差額

(単位:千円)

勘定科目	決算額
診療収入	
診療外収入	31,088
受取利息配当金収入	1,834
雑収入	9
事業活動収入計	4,191
事務費支出	37,122
診療支出	5,490
繰入金支出	10,898
事業活動支出計	19,900
当期活動収支差額	36,288
前期繰越活動収支差額	834
次期繰越活動収支差額	19,526
差引純資産	20,360

浜松十字の園及び御殿場十字の園に併設する診療所事業が、公益事業会計に計上されています。財産目録には、社会福祉事業及び公益事業が合算され法人全体の合算合計として決算されています。

各施設からの事業報告

浜松十字の園 施設長 平井 章

(19年度報告) 新規事業として職員住宅を改装した小規模通所介護「のんき」を開始しました。運営の柱であるその人らしく居られる場であること、仲間と集う場であること、地域で住み続けることを応援することを実施しました。職員の質向上のために主任・リーダークラスの外部講師を招いてのレベルアップ研修を5か月間開催しました。サービスの質向上のために9つのプロジェクトチームを組織して新年度から活動を始めます。

(20年度計画) 小規模多機能事業「あんき」と民間福祉事業「根洗荘」の受託支援を4月に開始。来年4月開設に向けてユニット型ケアハウス「第2アドナイ館」の施設整備の準備。

伊豆高原十字の園 施設長 青木 克文

キリスト教の精神を継承と実践のために近隣教会の協力により、毎朝の礼拝が守られ、業務に向かうことができました。

事故発生防止指針に基づき事故分析・情報共有・検討が行えるよう書式類を見直し、職員への教育、定期的なリスクマネジメント委員会の開催を通して事故防止に取り組みました。指針に基づくマニュアルの見直し、充実も進めています。

施設研修委員会では、「新入職研修プログラム」に沿って期間ごとに研修を実施、内容も検討し、充実を図っています。

松崎十字の園 施設長 三條 洋二

運営重点目標である『①利用者の満足感のある生活。②専門性の追求。③ICFに基づいた援助。』の実施は、利用者を大切にする事を念頭に置きつつ生活を支えて来たが、職員の中で体調を壊すものが出てきたりして、忙しさの中で仕事をしてきた感があり、満足の行くものではなかった。高齢者については、天に召された方が6名おられ、それぞれの方に合った最期を迎える事ができ、サポートしてきた職員、また御家族に感謝したい。障害者施設は、自立支援法への移行で職員1名減員での支援になり、利用者の個別支援に支障があった。障害者相談支援事業の委託を受けた事により、障害の短期利用者が増加した。

御殿場十字の園 施設長 上野 貢一

19年度も精神基盤の聖書のみ言葉「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を掲げ、利用者の自立と尊厳の支援を行いました。特に障がい者高齢者の相談支援事業、口腔ケアの充実、事故対策、身体拘束廃止に取り組みました。

又、経営収支に注視した一年でした。

- 4月 地域活動支援センター事業開始
- 5月 包括支援センター、ネットワーク推進
- 10月 指定障害者相談支援事業開始
- 11月 特養家族懇談会
- 12月 施設内研修「ノロウイルス、リハビリ」
身体拘束0宣言
- 2月 市民講座、虐待のテーマで森茂廣氏講演
- 3月 ボランティア懇談会、平井理事長講演

アドナイ館 施設長 宮岸 孝一

毎朝の礼拝で示される聖書のみ言葉を通して職員各自に与えられた福祉の業と基本理念の継承に心掛け取組みました。開設15年を振り返り自立生活に限界を感じる方々の新たな生活の場を求めて地域密着型特定施設入居者生活介護サービス事業を平成21年4月を目指して建設工事が始まろうとしています。通所介護事業では、介護予防への取組みと個別サービス(ケアプラン)計画に沿って、利用者の希望に応え機能訓練の充実・趣味活動等の種目を更に吟味して取組んだ一年でした。

伊東市立養護老人ホーム 施設長 森 茂廣

2007年度のテーマは(平和→成長→展開)

- 1. のびのび・なごやかな暮らしの実現を目指しました。
 - ・一人ひとり、人生の主人公として、主体的に生きる。
 - ・助け合い、支えあいで、共に生きる喜びを実感する。
 - ・観音堂周辺のガーデニングで心豊かな日々を過ごす。
- 2. 職員の資質向上で、サービスの改善を目指しました。
 - ・月例の勉強会で、学びあい、分かち合い、共に成長を。
 - ・「平和の杜10のモットー」で、活かし・補い・育て合う。
 - ・認知症ケアの新しい文化を理解し、実践し、伝える。
- 3. 養護老人ホームの新たな役割を求めて、展開しました。
 - ・緊急ショートの積極的受け入れ、対応を心がける。
 - ・特定・通所・訪問の3介護保険事業所を開始し、運営する。
 - ・介護予防・生きがい支援の視点で、丁寧な対応を心がける。

小規模多機能ホーム『あんき』、いよいよ開所！ 浜松十字の園 後藤 速人

4月1日より、小規模多機能ホーム“あんき”が開所しました。利用者に寄り添いながら“思い”をきちんと受け止め、状況の変化に臨機応変に即応するために、多様な機能を組み合わせたサービスの提供を心掛けています。

開所した頃は、手探り状態のバタバタした日々が続きましたが、約2ヶ月が経ちやっと互いに慣れた環境になってきました。今後も利用者、家族、地域の方々と私たちが信頼で結ばれていくことを望んでいます。

応援よろしくお願ひ致します。



鯉の滝登り

御殿場十字の園 山本 靖

端午の節句が近づくと、御殿場十字の園では多くの鯉幟が中庭を舞い始めます。(本館)3階ベランダとケアハウスの非常階段の3階をロープで繋ぎ、何匹もの鯉幟と吹流しを吊るします。これらの鯉幟は、近隣の方々から「息子(孫)が大きくなり独り立ちしたので、もう家でこれを揚げてやることも出来なくなりました。こちらにいらっしゃる皆さんに端午の節句に楽しんでいただければと思いまして。」と頂戴したものです。

例年、ゴールデンウィーク前の「今日を逃すと、このお天気は望めない。」と思える快晴に恵まれた日に一気に揚げに掛かります。入居されている多くのギャラリーがベランダに集まってきて「今年も鯉幟の季節がやってきたんだねえ。」と感慨に耽っておられますが、私たちの頭を悩ませてくれる毎年の課題は「ロープをどのように張るか」ただひとつ。今年はより多くの鯉幟を掲げるよう考慮し、ケアハウス非常階段3階を基点とし本館3階の東端までの約25m、同じく非常階段から真北に本館3階ベランダまで約9mの2方向にロープを張ることにしました。



当然の事ながら張ったロープに鯉幟をつけていく事は出来ませんので、まずロープに鯉幟・吹流しを結びつけ、それを3階の高さまで引っ張り揚げて水平に位置で固定します。風をはらんで徐々に上がって行く鯉幟は、まさに『鯉の滝登り』。寮棟のギャラリー(入居者)からは見応え十分ですが、私達は毎年季節外れの『綱引き』をやっているような境遇です。

教訓『こいのぼりは、橘香る力仕事と見つけたり。』

お昼のひととき（お腹いっぱい！幸せ～）

伊豆高原十字の園 山崎 一恵

「季節のおいしいおやつを作り食えよう！」と毎月おやつ作りサークルを行っています。饅頭・ドーナツ・桜餅など利用者と一緒に作り、出来立てを頬張ります。

昔とった杵柄で利用者の皆さんは職員よりも上手に“次から次へこねこね”饅頭を丸めていきます。形も大きさも個性豊かに出来上がり、多少失敗してもそこのところはご愛嬌です。まさしく自分たちで作ったお菓子の味は最高です!!

他にも外食風に天婦羅屋・ラーメン屋・甘味処等、職員がウェイトレスになり注文を受ける出店も行っています。甘味処では注文したパフェが目の前に運ばれると満面の笑みがこぼれ、あちこちで楽しい声・歌も聞こえています。幸せの瞬間を共に味わう喜びを職員も感じ、職員の楽しみにもなっています。今後も「楽しくおいしく」行っていきたいと思います。



『カラオケで歌おう！』

アドナイ館 三輪 真理子



アドナイ館では昨年度、カラオケ機器を購入しました。ワゴンタイプで移動も樂々です。日中はデイサービスのレクリエーションで大活躍。人気の曲ベスト10は、旅の夜風、金色夜叉、月の砂漠、りんごの唄、青い山脈、岸壁の母、荒城の月、北国の春、銀座の恋の物語、奥飛騨慕情です。みなさんのお馴染みの曲が並びます。ケアハウスでも5月から、日曜日の午後3時～4時30分と金曜日の午後7時～8時30分に食堂で行っています。機械の操作もお手のもの、バラエティーに富んだ選曲で楽しまれています。音楽が私たちの心身におよぼす様々な効用は、もう十分に周知されていますが、中でも歌うことは口の周りや舌、喉の筋肉をたくさん使います。横隔膜や肺を抜け、腹筋を使います。更に動く歌詞を見ながら歌い、その声を耳から聴くことにより、たくさんの刺激が脳へと送られます。なにはともあれ大きな声で楽しく歌い、心も体もリフレッシュ！元気で過ごしていただければと思っております。

○ 地域に膨らむ『ワークショップ・マナ』

松崎十字の園 内田 喜久

障害者自立支援法の改正に伴い今年4月より、松崎十字の園では西ん子作業所が就労継続支援B型「ワークショップ・マナ」として生まれ変わりスタートしました。作業所では地元企業からの下請け作業や縫製作業などを行っておりましたが、新たに『パン工房・空とぶうさき』も始めました。パン作りは、まだまだ勉強中の為、職員が中心となっておりますが、利用者様には、クッキー、タマゴボーロを作つて頂いております（クッキー等は職員が生地を作り、成形から包装まで、殆ど利用者様に作業して頂いております）。パンは、気温、湿度、水の温度、小麦の種類etc…様々な調整が難しく、利用者様が入つての作業が今は出来ていない状態ですが、利用者様と一緒に『パン工房・空とぶうさき』の看板メニューとして酵母の美味しいパンを製作できるよう頑張っております。パン工房の仕事をすごく楽しみにされている利用者様が多く、みんなで楽しんで仕事をしております。（食事の休憩時間も殆ど取らずにパン工房に来てしまう利用者様もいるぐらいです…）



○ 虚空の響き『スピリチュアルコンサート』

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 川尻 寿

2月20日、「奈良裕之・スピリチュアルコンサート」の開催で、平和の杜は不思議な音色に包まれました。奈良さんは映画「地球交響曲第6番」に登場するプロの民族楽器奏者で、全国各地の福祉施設・教育施設・病院などで演奏し、人々と深く交流をされている方です。平和の杜の皆さんには、次々と演奏される珍しい楽器に、はじめは興味津々ながらもやや戸惑い気味……目を閉じてじっと耳を傾ける人、音楽に合わせ手拍子する人や肩を揺らしたりする人と聞き方は人それぞれさまざま…しかし、不思議なことに、次第に奈良さんの奏でる透明感のある音色に魅了され、静かに自分の心と向かい合い、いつのまにか懐かしい時空（奈良ワールド）へと誘われているのでした。演奏も終盤に差しかかるころ、聞き覚えのある、村祭りの笛の音が響いてきました。…奈良さんが踊りながら、『花笠音頭』の演奏をはじめたのです。…しづかな瞑想の雰囲気から会場は一転して



お祭りムードへ。会場一体となり、『ヤッショーやッカショ!!』の大合唱。もう誰にも止められません。いても立てもいられなくなったFさんが、太鼓を叩きながら、飛び入り参加し、アドリブで奈良さんと踊り始めました。続いてデイサービス利用者のMさんも躍り出し、手拍子あり、笑い声ありの生き生き空間が生まれ、みんなで音を楽しむ素晴らしいひとときとなりました。平和の杜には今日も皆さんの明るい笑い声が響き渡ります。

2008(平成20)年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：8名

(介護士) 野中 麻貴・鈴木 優文
栗倉 一覧・田中 政義
大津 晴美

(看護師) 加茂 真理

(理学療法士) 石井 秀明

(作業療法士) 蓮井 香里

☆御殿場十字の園：7名

(介護士) 内村 一俊・上屋敷優紀
早川 美穂・松井ゆかり
大日方恵理・黒津 太一
中村美由紀

☆伊豆高原十字の園：5名

(介護士) 庄野加代子・中村小雪・大井理恵
塩谷侑子・(看護師) 坂本律子

☆アドナイ館：2名

(栄養士) 前田朗江・(看護師) 楠本雅美



☆松崎十字の園：10名

(介護士) 齊藤 匡紀・原田 由香・平野 由紀
三村 有希・菊地 理恵

(事務員) 多田 高穂・(調理師) 吉田 勇

(サービス管理責任者) 齊藤喜代子

(介護支援専門員) 浅沼洋子・(職業指導員) 須田淳子
計 32名(辞令交付式には27名が出席しました)

温かいご支援をありがとうございます！



去年度も多くの皆様からこころ温まるご支援とご寄付を賜り誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設つくりのための施設整備及び備品購入にあてさせて頂きます。

法人本部	11件	357,880円
浜松十字の園	83件	4,642,065円
御殿場十字の園	162件	2,295,693円
伊豆高原十字の園	62件	880,815円
松崎十字の園	30件	1,633,000円
アドナイ館	143件	4,941,452円
御殿場アドナイ館	3件	360,897円
オリブ	5件	38,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	21件	395,000円
合計	521件	15,838,369円

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく御願い致します。

皆様の暖かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井 章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

送迎支援車頂きました!!



このたび、伊豆高原十字の園では日本財團様より、車両購入助成金を頂き、ハイエースを購入することができました。デイサービスの送迎に利用させて頂いています。利用者の皆様には景色もよく見え、乗り心地も良いと好評です。日本財團様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



にわかに暑さ
がつり梅雨
明けが待ちど
おしい季節がやってきました。
各施設で行なっている事業
の膨らみが地域のバリアフリー
を築き、安心して安全な生活
が営め、すべての人達が豊か
で過ごせる事を祈りたいです。…
(渡)